

令和4年度 第二回理事会 議事要旨

1 開催日時

令和5年3月28日（火曜日） 午前9時59分から午前10時47分まで

2 開催場所

- (1) 東京都千代田区飯田橋三丁目8番5号 住友不動産飯田橋駅前ビル10階
公益財団法人東京しごと財団 雇用環境整備課 セミナー室
- (2) Web会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)による出席

3 会議の種類等

令和4年度第二回理事会（定時理事会）

4 役員の現在員数

- (1) 理事 10名
- (2) 監事 3名

5 定足数

決議において特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数 6名

6 出席（理事）

- (1) 出席者 8名（役員名簿順）
直接出席 …中澤 基行、山村 りつ、保高 健彦、矢田部 裕文、内田 知子
Web会議出席…黒澤 昌子、塚本 成美、戎野 淑子
- (2) 決議において特別の利害関係を有する理事
なし

7 出席（監事）

- (1) 出席者 2名
直接出席 …武越 信昭
Web会議出席…向井 一弘

8 議長

中澤 基行 理事長（代表理事）

9 議題

〈決議事項〉

- (1) 第12号議案 令和5年度事業計画書（案）について
- (2) 第13号議案
その1 令和5年度収支予算書（案）について
その2 令和5年度資金調達及び設備投資の見込み（案）について
- (3) 第14号議案 処務規程の一部改正（案）について
- (4) 第15号議案 特定個人情報等取扱規程の一部改正（案）について

- (5) 第16号議案 財務規程の一部改正（案）について
- (6) 第17号議案 旅費規程の一部改正（案）について
- (7) 第18号議案 職員給与規程の一部改正（案）について
- (8) 第19号議案 役員賠償責任保険への加入（案）について
- (9) 第20号議案 理事長の報酬額の決定（案）について

<報告事項>

理事長の職務の執行状況報告について

10 議事の経過要領及びその結果

雇用環境整備課セミナー室及び各理事・監事の参加会場において、Web会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることを確認した。

(1) 開 会

事務局が開会を宣した。

(2) 理事長挨拶

理事長が挨拶を行った。

(3) 新任役員・新人事務局職員紹介

事務局が、前回開催以降に新たに就任した監事及び事務局職員を紹介した。

(4) 議 長

事務局が、定款第44条に基づき、中澤理事長が議長を務めることについて議場に確認するとともに、以降の進行を議長に移した。

(5) 定 足 数

事務局が、現在の理事10名のうち8名が出席し、また、いずれの理事も本日決議する事項について特別の利害関係を有していないことから、定款第45条に定める理事会定足数を満たしていることを報告し、議長が、本理事会が成立していることを宣した。

(6) 議事録署名人

議長が、定款第49条第2項に基づき、議長と出席監事2名が本理事会の議事録署名人となることを議場に確認した。

(7) 議案審議①

第12号議案、第13号議案について、事務局より説明がなされるとともに、監事より監事の結果報告がなされた。その後、審議がなされた。

(質問、意見等)

○監 事：「ターゲット別就労支援」について、全般的に周知が大事。特に「新卒学生フォローアップ事業」、「氷河期世代向け合同面接会」等について、周知や働きかけで具体的に考えているものがあれば教えていただきたい。

また、「テレワーク定着促進フォローアップ事業」について。テレワークは、コロナの影響で企業でも取り組んできているが、通勤型に戻つつある。テレワークとのハイブリッド等の新しい企業形態ができていると報道等で聞いているが、テレワーク関係の事業についての展開について伺いたい。

◇事務局：しごとセンターでは、「ヤングコーナー」「ミドルコーナー」という形でサービスを提供している。ヤングコーナーでは、従前より大学と様々な連携を取り合っサービスを提供し、大学に出張してセミナーを運営する等行っている。「新卒学生フォローアップ事業」は大学3年生をターゲットとして行う事業。今まで培った大学との関係を活かし、キャリアセンター等に働きかけ、学生に周知していきたい。

「氷河期世代向け合同面接会」は、幅広い年齢層の方が対象となる。Web広告や紙のチラシ・ポスター等で広く周知するとともに、ミドルコーナーをご利用の方々にもお声がけして参加を呼び掛けていきたい。

◇事務局：テレワークの今後の展開について。テレワークは、コロナ禍で急速に普及したが、落ち着きとともにやめてしまう企業も多いことから、定着させていくことが課題であり、次年度から「テレワーク定着促進フォローアップ事業」を実施し、定着に向けてフォローしていきたいと考えている。
また、テレワークが進んだ企業がある一方、足踏みしている企業、業種がある。そういったところには「ハンズオン」の形で、どのように導入すればよいかというところから支援していくことを方向性としている。

○理 事：テレワークの定着、緊急避難的ではなく、各職場で生産性を向上させるためのツールとして導入することは、多様な働き方を促すことになり、高齢者、障害者、女性の労働力参加を促すことになるので大変重要。オンライン助言を終了したあとにツール等の導入、経費を助成するという一方で、オンライン助言が鍵になると思うが、ツールを導入するだけでなく、どうしたら各職場で生産性向上ツールとして機能するか、その位置づけをコンサルしてもらった必要があるので充実させていただきたい。

また、しごとセンターにおいても、ジョブカードを活用したコンサルティングを実施していただきたい。理事長からも、先ほど「国を含めた様々な機関と連携」という話があったが、就職支援の方策については、JEED（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）等と地方運営協議会等の場を通してノウハウ共有を行っていただき、お互いにベストプラクティスを学びあうということ、次年度、より積極的にやっていただきたい。特にJEEDでは、「生産性向上人材育成支援センター」というものもやっており、ホワイトカラーの人材育成についてのコンサルティングもやっている。公益目的事業3の1（1）にあるような中小企業のDX化を推進する人材育成支援のノウハウも共有していただき進めていただきたい。

◇事務局：「テレワーク定着促進フォローアップ事業」は、東京都と連携した事業であり、助言の後にツール導入の助成をしていくほか、導入後は実際の導入状況を把握してコンサルティングを行う等、サポートする仕組みとなっている。ご意見をふまえ、より良い事業になるようにしていく。

◇事務局：理事のおっしゃるとおり、国をはじめ、東京都、関係機関と連携して取り組んでいきたい。

○理事：令和4年度も、年度当初の予算を何度か変更し、コロナ等の緊急的な状態に対応したマッチングイベントや育業の加速に対する緊急措置等をお願いしてきた。直近では、コロナが回復したところに手を打つということで、観光産業を盛り立てるための緊急マッチング会にご協力いただき、大変盛況だったということでこの場を借りてお礼を申し上げたい。

社会の動きが激しく、コロナが終わったと思えば経済が動き出し、企業は大変な人手不足で困っている。先ほど理事長からも「求職者にとってはまたとないチャンス」という趣旨のご発言もあったと思うが、しごとセンターにおいて、求職者と企業双方を助けられる機関ということで重要性がますます増している。新年度には、社会情勢を見ながら、先ほどお話があったテレワークを含めて適切に対応していきたい。ご協力をお願いしたい。

◇事務局：引き続き連携・相談しながら進めていきたい。

○理事：今回、新規事業として「新卒学卒フォローアップ」が立ち上がるとのこと。先ほど質問への回答もあったが、大学と連携して進めるということ大変ありがたい。今年、インターンシップの位置づけの変化に伴い、大学自身も手探りであり、学生も不安いっぱい。「3年生対象」といっても、3年生のいつの時期にあたるかで内容も変わってくる。大学との連携の中で、周知のみならず、情報収集や、互いに情報共有を進めながら内容についても時々に応じて臨機応変に対応していただきたい。

◇事務局：予定している事業は大学3年生の夏休みの期間、4年生に上がる春休みの期間に合わせて開催を予定している。内容はグループワークを中心にカリキュラムを組んでいる。せっかく大学と連携していくので様々なニーズも拾いながらカリキュラムを構成していきたい。

(質問、意見等は以上)

(8) 議案審議結果①

議長が、各議案についてそれぞれ賛否を諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

(9) 議案審議②

第14号議案から第20号議案について、事務局より説明がなされ、審議がなされた。

(質問、意見はなし)

(10) 議案審議結果②

議長が、各議案についてそれぞれ賛否を諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

(11) 報告事項

議長（理事長）より、理事長の職務執行状況について説明がなされた。

(質問、意見はなし)

(12) 全体を通しての質疑応答

議長が、全体を通しての質問・意見等を募った。

(質問、意見はなし)

11 閉 会

本理事会で予定していた決議事項及び報告事項について全て終了したので、議長は閉会を宣し、解散した。